

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 大
 コード番号 4838 URL http://www.spaceshower.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 長谷川 裕朗 TEL 03 (3585) 3242
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,859	9.0	264	269.5	281	217.5	135	—
24年3月期第3四半期	8,127	△5.4	71	△51.4	88	△47.5	△96	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 136百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △97百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1,270.85	—
24年3月期第3四半期	△907.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,519	3,712	56.9
24年3月期	6,606	3,669	55.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,712百万円 24年3月期 3,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	875.00	875.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	875.00	875.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,204	1.7	283	—	301	615.9	153	92.4	1,431.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	106,908株	24年3月期	106,908株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	ー株	24年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	106,908株	24年3月期3Q	106,908株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初こそ東日本大震災からの復興需要による堅調な内需に支えられ、景気の先行きには期待感があったものの、その後は欧州債務問題に伴う海外経済の長引く低迷に加え、日中関係悪化による輸出不振も重なり、先行きは不透明な状況にあります。一方で、年末にかけて、金融緩和の更なる拡大期待から、為替は円安基調に反転し、株式市場も上昇傾向になるなど明るい兆しも見えてつつある状況であります。

こうした中、当社グループでは、業績水準を安定的に回復し経営基盤を盤石にすることと放送外事業を黒字成長構造へ転換することを当連結会計年度の経営方針に掲げて経営を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,859,988千円と前年同期比732,062千円増（同9.0%増）となり、これに伴い、営業利益は264,653千円と前年同期比193,036千円増（同269.5%増）、経常利益は281,789千円と前年同期比193,050千円増（同217.5%増）となりました。また、四半期純利益は135,863千円となり、損失計上となった前年同期と比べ232,862千円改善いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①音楽事業

有料放送の番組視聴可能世帯数につきましては、「スペースシャワーTV」が840万1千世帯、「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」は294万2千世帯となりました。スカパー！（旧スカパー！e2）の売上が前年同期比で増加いたしました。レコードメーカーからの広告出稿が前年度水準を下回ったため、当第3四半期連結累計期間における放送関連の業績は前年同期並みの結果となりました。

ディストリビューション関連では、フィーチャーフォンからスマートフォンへの移行に伴い、デジタル音楽配信が減少傾向にありますが、今後スマートフォンなどでの「定額聴き放題サービス」の普及・拡大が見込まれております。当社としては、様々なサービス事業者に対して提供する配信楽曲のデータ加工速度を上げ、デジタル音楽配信売上の再浮揚を目指し、現在システム開発を進めております。当第3四半期連結累計期間においては、デジタル音楽配信の減少を、好調なCDパッケージの受託流通売上でカバーし、前年同期実績を上回る水準で推移いたしました。

ライブ・イベント関連では、当社主催の野外フェス「Sweet Love Shower 2012」が盛況であったことにより、前年同期比増益となったことに加え、震災の影響で前年同期に営業損失を計上したライブハウスも黒字化いたしました。

また、前年同期に発生した騒音被害によるスタジオ事業の営業損失（前連結会計年度末で事業撤退済み）や子会社の事務所移転費用などの一過性の費用が、当第3四半期連結累計期間においてはなくなりました。

この結果、売上高は7,943,418千円と前年同期比464,303千円増（同6.2%増）となりました。経常利益（セグメント利益）につきましては、223,152千円と前年同期比152,729千円増（同216.9%増）となりました。

②映像制作事業

当事業につきましては、前年同期は東日本大震災の影響により売上が一時的に大きく落ち込みましたが、当第3四半期連結累計期間は、ミュージックビデオのみならず、それ以外の大型映像収録案件も受注できたことにより、業績は好調に推移いたしました。この結果、売上高は916,569千円と、前年同期比267,758千円増（同41.3%増）と大幅な増収となりました。経常利益（セグメント利益）は、59,081千円となり、前年同期と比べ42,214千円増（同250.3%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分変更をしており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、セグメント区分変更後の数値によっております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報等 II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に流動資産その他が100,027千円、仕掛品が39,222千円、現金及び預金が34,890千円増加し、一方で未収還付法人税等が80,628千円、建物及び構築物が59,234千円、流動資産繰延税金資産が40,485千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ86,371千円減少し、6,519,890千円となりました。

負債につきましては、主に未払法人税等が52,352千円、退職給付引当金が38,723千円、流動負債その他が31,847千円、返品調整引当金が19,174千円増加し、一方で未払金が127,183千円、買掛金が110,261千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ128,871千円減少し、2,807,456千円となりました。また、純資産は利益剰余金が42,319千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ42,499千円増加し、3,712,433千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、好調であったCDパッケージ販売、主催イベント、受託映像制作などに牽引され、当初計画を上回って推移して参りましたが、第4四半期においては、CDパッケージ販売及び広告営業が落ち込むことに加え、レコーディングスタジオの事業撤退に伴い売上の減少が見込まれておりますので、連結業績予想につきましては、平成24年10月19日付け発表の当社「平成25年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当初発表のまま据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,727,832	2,762,723
受取手形及び売掛金	1,523,690	1,483,559
商品及び製品	208,234	221,030
仕掛品	108,979	148,201
原材料及び貯蔵品	5,333	772
未収還付法人税等	80,628	—
繰延税金資産	125,152	84,667
その他	180,620	280,648
貸倒引当金	△62,173	△70,278
流動資産合計	4,898,298	4,911,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	592,293	533,058
機械装置及び運搬具	23,475	23,475
工具、器具及び備品	354,486	343,530
土地	195,864	195,864
リース資産	455,071	455,071
建設仮勘定	—	15,200
減価償却累計額及び減損損失累計額	△873,237	△892,042
有形固定資産合計	747,954	674,157
無形固定資産		
のれん	39,639	—
ソフトウェア	131,632	161,080
リース資産	38,737	26,002
その他	47,172	63,909
無形固定資産合計	257,182	250,991
投資その他の資産		
投資有価証券	5,634	13,814
敷金及び保証金	312,350	309,143
繰延税金資産	330,661	301,465
その他	69,916	74,948
貸倒引当金	△15,735	△15,956
投資その他の資産合計	702,827	683,415
固定資産合計	1,707,963	1,608,564
資産合計	6,606,262	6,519,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,092,962	982,700
リース債務	84,150	79,608
未払金	307,493	180,310
未払法人税等	21,420	73,773
預り金	443,376	461,664
賞与引当金	91,351	76,194
役員賞与引当金	3,882	10,339
返品調整引当金	71,575	90,749
売上割戻引当金	1,460	784
その他	22,899	54,747
流動負債合計	2,140,572	2,010,874
固定負債		
リース債務	268,759	210,364
退職給付引当金	426,645	465,369
役員退職慰労引当金	93,702	113,609
その他	6,647	7,239
固定負債合計	795,756	796,582
負債合計	2,936,328	2,807,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,059	1,789,059
資本剰余金	846,059	846,059
利益剰余金	1,035,159	1,077,478
株主資本合計	3,670,277	3,712,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	△162
その他の包括利益累計額合計	△343	△162
少数株主持分	—	—
純資産合計	3,669,934	3,712,433
負債純資産合計	6,606,262	6,519,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,127,926	8,859,988
売上原価	6,074,598	6,723,199
売上総利益	2,053,327	2,136,788
返品調整引当金繰入額	—	19,174
返品調整引当金戻入額	6,191	—
差引売上総利益	2,059,519	2,117,614
販売費及び一般管理費	1,987,902	1,852,961
営業利益	71,616	264,653
営業外収益		
受取利息	591	326
受取配当金	49	89
受取賃貸料	3,855	2,100
業務受託手数料	—	6,350
諸預り金戻入益	7,797	7,200
雑収入	13,393	6,862
営業外収益合計	25,687	22,929
営業外費用		
支払利息	8,006	5,531
その他	559	261
営業外費用合計	8,565	5,792
経常利益	88,739	281,789
特別利益		
固定資産売却益	—	15
特別利益合計	—	15
特別損失		
固定資産除却損	1,975	5,046
固定資産売却損	—	71
事業整理損	11,356	—
のれん償却額	10,027	—
減損損失	4,390	—
災害見舞金等	2,151	—
特別損失合計	29,900	5,118
税金等調整前四半期純利益	58,838	276,686
法人税、住民税及び事業税	80,781	71,140
法人税等調整額	75,055	69,682
法人税等合計	155,836	140,822
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,998	135,863
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,998	135,863

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△96,998	135,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	180
その他の包括利益合計	△399	180
四半期包括利益	△97,398	136,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,398	136,044

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,479,114	648,811	8,127,926	—	8,127,926
セグメント間の内部売上高又は振替 高	600	25,607	26,207	△26,207	—
計	7,479,714	674,418	8,154,133	△26,207	8,127,926
セグメント利益	70,423	16,867	87,290	1,448	88,739

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去1,448千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,943,418	916,569	8,859,988	—	8,859,988
セグメント間の内部売上高又は振替 高	1,000	33,104	34,104	△34,104	—
計	7,944,418	949,673	8,894,092	△34,104	8,859,988
セグメント利益(△損失)	223,152	59,081	282,234	△445	281,789

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額は、セグメント間取引等消去△445千円であります。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は平成23年10月1日付けで、グループ内における重複機能の効率化に加え、連結子会社に分散していた放送外事業の人材やノウハウを再編し、諸機能の横断的連携によりグループ力を最大限発揮できる組織体制に移行させることを目的として、連結子会社2社を全事業譲受により経営統合いたしました。

この経営統合に伴い、当社は今後、音楽コンテンツを核に「放送関連」、「音楽ソフト」という従来のセグメントの枠組みを超えて事業を展開し、収益の獲得、費用の計上、及び資源の配分を行って参りますので、第1四半期連結会計期間より、これら2セグメントを「音楽事業」として統合いたしました。また、「映像制作」については「映像制作事業」へ変更しておりますが、当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間のセグメント区分に合わせて作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。